

自己評価

| | |
|--------|---|
| 学校教育目標 | 「ひとりだちのできる子」の育成（自立と社会参加の力を育てる） ・生活自立（基礎体力・身辺自立・基本的生活習慣・基礎学力） ・社会自立（対人関係能力としてのコミュニケーションの力・規範意識） ・職業自立（ビジネスマナー・職業に関する知識、技能等） |
|--------|---|

| | |
|---|---|
| 評価する領域・分野 | 防災教育 |
| 現状及びアンケートの結果分析等 | ・防災に関するアンケート結果については、「児童生徒の安全に気を配り、緊急時の対応がしっかりしている」に対して93%が「よくあてはまる」「あてはまる」の評価を得ている。全学部の保護者にとって、特に関心が高い事項であることが窺われる。 |
| 今年度の具体的かつ明確な重点目標 | ・昨年度PTA活動で「地域へ参加していくための防災研修会」を開催し、保護者の防災に対する意識が高まった。これを継続していくために校内で行う防災教育について保護者に配信し、さらに理解を高める。 |
| 重点目標を達成するための校内組織体制 | ・保健安全部職員を中心にPTAと連携を図りながら研修等を行っていく。 |
| 目標の達成に必要な具体的取組 | ・毎月「シェイクアウト訓練」、年2回「命を守る訓練」。 ・職員研修、PTA研修。ハザードマップ。備蓄品、非常食等。 |
| 達成度の判断・判定基準あるいは指標 | ・個別懇談等の保護者の感想や生徒の意見。 ・学校評議員や地域等の外部の意見。 ・職員会議、分掌会、学部会等の校内における自己評価。 |
| 取組状況・実践内容等 | ・毎月の「シェイクアウト訓練」により、冷静に行動がとれ、命を守る姿勢がとれるようになってきた。 ・研修により職員、保護者の防災意識が高まった。 |
| 評価の視点 | 評価 |
| ①児童生徒一人一人に適した防災教育ができたか。 | A (B) C D |
| ②本人、保護者の防災意識が高まったか。 | A (B) C D |
| ③災害時に各地域での避難等を考えることができたか。 | A (B) C D |
| 成果・課題 | 総合評価 |
| ○児童生徒は授業の中で、保護者はPTA研修で非常食の試食を行うことで防災意識が高まった。 ▲各地域で児童生徒の災害時の支援等ができるかの調査が必要。 | A (B) C D |
| 来年度に向けての改善方策案 | ・個々に災害時の避難経路や避難場所等の確認。 ・個々にあった非常食の備蓄。 |

学校関係者評価 (平成30年1月30日実施)

| | |
|-----------|---|
| 意見・要望・評価等 | ・地域がどこに障害のある子供がいるのかがあまり知られていない現状であるため、地域活動に積極的に参加する必要がある。 |
|-----------|---|